



市庁舎トイレに生理用品を無償配置 ジェンダーギャップの解消に向けた実証実験を実施

市は株式会社ネクイノ（大阪市北区）と、市庁舎等の女性用トイレで生理用ナプキンが無償配置する実証実験を6月24日から開始する。

生理用品の配置は身体的性差への理解促進を図るとともに、その性差を踏まえ女性の負担軽減を目的として実施。本実証実験では利用者のスマートフォンにインストールした専用スマホアプリ（ベータ版）とトイレ内のディスペンサーが連動することで、生理用ナプキンを無料で受け取ることができる同社のサービス「toreluna」を利用する。

「toreluna」を利用した生理用ナプキンを無償提供する取り組みは自治体初。本実証実験を通して、市庁舎等への生理用品の効果的な配置方法について検討。

6月23日（木）午前10時から、市役所別館4階市長応接室で同社との協定締結式を予定。

★「toreluna」は(株)ネクイノが提供する生理用品を無償で提供するサービス。スマートフォンの専用アプリ（ベータ版）とトイレ内のディスペンサーが連動することで、ナプキンを無料で受け取ることが出来る。また、トイレ個室入室時に人感センサーが反応し、個室にいる間に広告動画が流れる。

★株式会社ネクイノは大阪市北区に本社を置く、インターネットを用いた遠隔医療サービスの企画、運営等を行う会社。生理用品は多くの人々が安心して学び、働き、生活し、自己実現するのに必要不可欠なものであり、日常的に必要なとなるサニタリー用品。トイレトイレットペーパー同様、生理用ナプキンについてもさまざまな施設で無償提供できるようにしたい。そのような思いから本サービスが生まれた。

★ディスペンサーの実証機は合計5台。6月24日から、まず市役所別館1階女子トイレに1台を設置。順次、追加の実証機を配置。実証実験の期間は3か月間を予定。

★市担当者は「トイレトイレットペーパーと同じように必要なときに生理用品を受け取れる仕組みを展開していきたい」と話す。

(「toreluna」使用イメージ)



▲toreluna ディispenser実証機

<お問い合わせ> 人権政策室(担当:橋本、中村) ☎072-841-1424、ファクス 072-841-1700